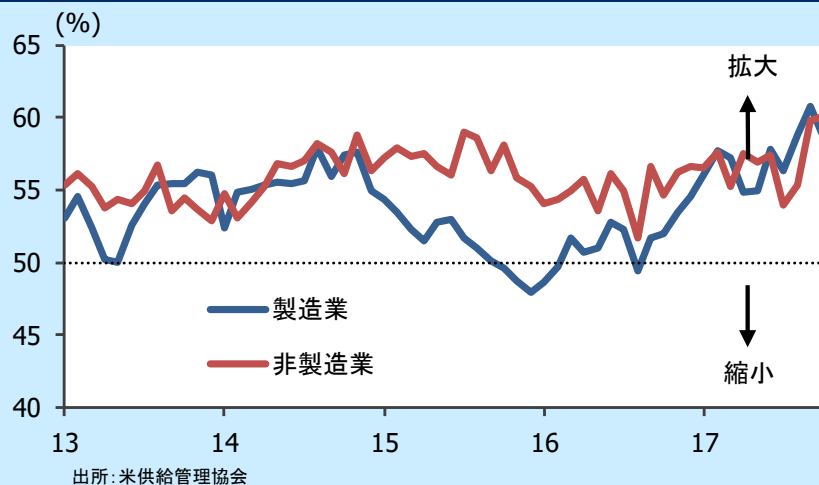


米国：ISM景況指数（2017年10月）

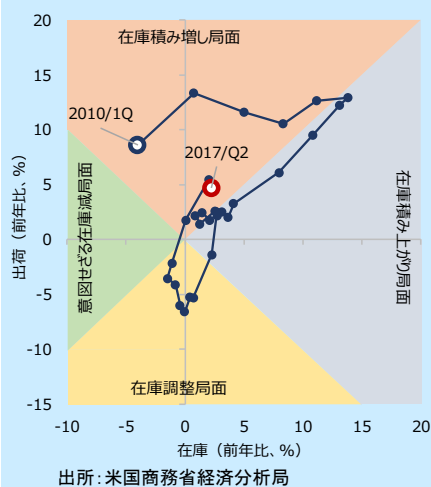
—製造業・非製造業ともに高い景況指数を維持—

MRI Daily Economic Points
November 7, 2017

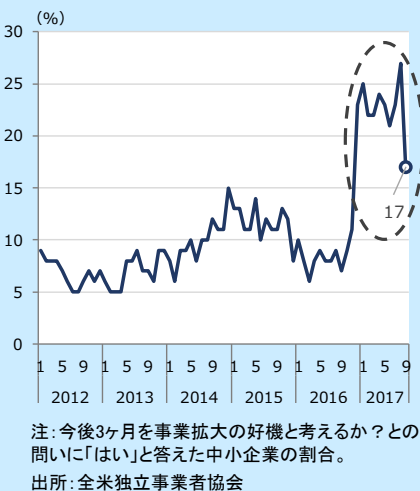
図表1 総合指数



図表2 在庫循環図



図表3 中小企業の景気見通し



評価ポイント

今回の結果

- 10月のISM製造業景況指数(総合、11/1公表)は、58.7と前月(60.8)から低下したが、引き続き高い水準を維持した。
- 項目別にみると、新規受注(63.4)と生産(61.0)はともに1.2ポイント低下したが、いずれも60を上回る水準を維持。雇用(59.8)も若干低下したが、高水準を維持した。業種別では、18業種のうち16業種が50を上回り、幅広い業種で活動が拡大した。
- 10月のISM非製造業景況指数(総合、11/3公表)は、60.1と前月(59.8)から上昇。3ヶ月連続の上昇となり、高い水準での推移が続いている。
- 項目別では、新規受注(62.8)が若干低下した一方で、ビジネス活動(62.2)や雇用(55.8)が上昇した。業種別では、16業種が50を上回り、幅広い業種で活動拡大が継続した。

基調判断と今後の流れ

- 製造業は、①堅調な内需や、②世界経済の持ち直し、③トランプ政権の経済政策への期待などから、良好な景況感を維持。また、製造業は現在、在庫積み増し局面にあるとみられ、在庫の積み増しによる生産の増加も景況感を下支えている(図表2)。非製造業も、堅調な内需を背景に良好な景況感が続いている。
- 先行きも、堅調な内需に支えられ、企業活動の拡大基調が続くと予想する。米国の就業者数の約半分を占める中小企業のうち、今後3ヶ月を事業拡大の好機と捉えている企業の割合は、高い水準を維持している(図表3)。
- 下振れ要因は、トランプ政権による各政策の動向である。①税制改革による財政赤字や財源の手当てを巡り、共和党内の意見がまとまらず、税制改革の停滞が続けば、減税期待などで高まった景況感が後退しかねない。また、②NAFTA再交渉が決裂し、保護主義的な動きが加速した場合、輸入物価の上昇などを通じて、企業活動に悪影響が及びうる。